

令和8年度 外務省

学生と語る

—私の提言—

テーマ

もし私が外務大臣なら:明日からの日本外交を決める

次世代プレゼン・サミット
出場者 募集!

☒ プレゼン・サミット応募締切日

令和8年10月9日(金)

申込

右記QRコードから
お申し込みください



学生サポーター
募集中!

「学生と語る」事業の広報活動等の協力を一層にしてくれる「学生サポーター」を併せて募集しています

☒ 応募締切日

令和8年10月9日(金)

問い合わせ

外務省大臣官房国内広報室「学生と語る」担当

TEL : 03-3580-3311 (内線3850) E-mail : gakusei-to-kataru@mofa.go.jp

「次世代プレゼン・サミット」募集要項

日時及び会場

日時

令和9年2月4日(木)

会場

外務省 (東京都千代田区霞が関2丁目2番1号)

外務省へのアクセス

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/address/index.html>

※この部分はクリックできます

プレゼンテーションのテーマ

「もし私が外務大臣なら：明日からの日本外交を決める」

国際社会は、歴史の大きな変革期にあります。地政学的な競争の激化、グローバル・サウスの台頭、安全保障の裾野の拡大、AIをはじめとするイノベーションの加速度的進展など、自由で開かれた国際秩序は歴史の大きな転換点を迎えています。日本を取り巻く安全保障環境はかつてなく複雑さを増している一方、国際社会が日本に寄せる期待もまた、大きくなっています。

この時代に、日本外交はどうあるべきか。その答えを、ほかでもないあなた自身と考えてほしいと思います。今回の「次世代プレゼン・サミット」のテーマは、「もし私が外務大臣だったら」という、少し大胆な問いかけです。あなたが日頃関心を持っていることを、「外交」という視点から眺めてみてください。誰もが賛同する正解はありません。取り上げる分野は自由に決めてください。日本の将来は次世代を担う皆さんにかかっています。大切なのは、あなた自身の視点と言葉です。教科書的な模範解答より、あなたにしか語れない独自の発想を歓迎します。

【プレゼンテーションに含める項目】

- ① プレゼンテーションのタイトル (各自で決定)
- ② 内容・「私が見る世界と日本外交の課題」
・「外務大臣として、私が実現したいこと」
・「私が目指す未来」

応募

応募締切：令和8年10月9日(金)

- ① 応募資格者：大学生及び大学院生
- ② 人数：個人(1名)出場(複数名で1チームとした出場はできません。)
- ③ 使用言語：日本語

要旨・ショート動画

提出締切：令和8年10月30日(金)

要旨

- 所定の様式に従い、以下の内容で作成してください。
(※登録者に、所定の要旨フォームが送付されます。)
- 表紙：指定様式にタイトル等記載(応募者情報は記載不可)
 - 要旨本文：冒頭に要点(200字以内)、続いて本文(2000字以内/図表使用可)
 - 書式：日本語、明朝体又はArial、12pt、1ページ40行程度を目安
 - 参考文献等は要旨別紙に記載(規定の文字数には含まない。)

ショート動画

要旨で提言した内容を踏まえ、以下2点を話してください。

- ① なぜ、このテーマに取り組んだのか。
- ② あなたの提言の核心を、一言で。

【動画撮影ルール】

- 1分以内(厳守)・本人顔出し・自分の言葉で撮影(原稿読上げ不可)
- スマートフォン撮影可・編集(字幕・効果音等)不可

本選

令和9年2月4日(木)

事前審査通過者は、本選のファイナリストとしてプレゼンテーション(5分)と質疑応答(約15分)を日本語で行います。質疑応答も審査対象です。審査は以下の観点で行われます。

- ✓ 提案力(課題設定、論点の明快さ、具体性等)
- ✓ 分析力(エビデンス、考察の深さ等)
- ✓ プレゼンテーション能力(説得力、メリハリ、表現力等)
- ✓ 質疑応答力(臨機応変さ等)
- ✓ 発想力(独創性、着眼点等)

『学生サポーター』募集について

イベントの事前広報や当日の運営サポートを一括にしてくれる「学生サポーター」を併せて募集しています

右記QRコードから▶

または 外務省HPから ▼

https://www.mofa.go.jp/mofaj/p_pd/dpr/pagew_000001_00025.html



▶ 応募締切日：令和8年10月9日(金)

問い合わせ

外務省大臣官房国内広報室「学生と語る」担当

TEL：03-3580-3311(内線3850)

E-mail：gakusei-to-kataru@mofa.go.jp